

# 官民連携による地域政策形成スキームづくり(ふじみ野市)

## (1)事業概要

地域の課題を知り、未来の政策を企画・立案・提案をするスキーム(仕組み)をつくることによって、市民目線による新しい地域政策の創出を目指す取り組みとして、平成25年度に「オールふじみ野未来政策研究会議」はスタートした。

毎回、無作為抽出のアンケートによる多様な市民の参加を確保しつつ、継続的に参加するメンバーによるノウハウの蓄積・継承をはかりながら、様々なテーマに関する政策提案の活動を行ってきた。

## (2)特徴・ポイント

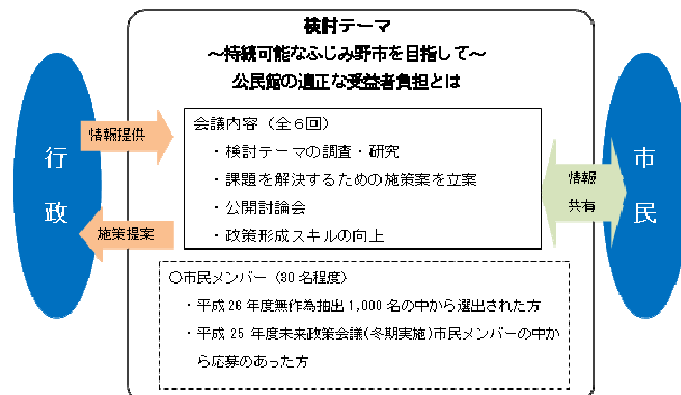
### ① 幅広い政策・内容の提案を通じた人材育成

数か月にわたるプログラムを通じて、多様な市民がひとつのチームになり、ともに政策を考え、提案する経験・知識を吸収・共有することで、公民連携の政策人材が育成される。

### ② 市民目線での新しい政策提案のインパクト

多様な市民が参加することによって、市民目線での新しい政策・アイデアが提案されることで、従来型の行政主導の政策とは異なったインパクトを生み出すことができる。

### 【全体像】 「オールふじみ野」未来政策会議



## ■事業の主な内容

項目	内容
事業名	オールふじみ野未来政策会議
実施者	ふじみ野市
事業目的	地域の課題・政策を、市民の目線、市民の力で解決していくための持続可能なスキームを構築することを目的とする。平成25年度から「オールふじみ野」未来政策会議が始まった。 ふじみ野市の未来に向けた政策のあり方は、行政・民間ともに明確な答えを持つものではないため、オールふじみ野未来政策会議の場では、立場、経験、立場等を超えて、同じ視点から話し合い、活動に取り組むことができる。
事業内容	無作為抽出の市民へアンケート/参加依頼を送付し、希望者が参加するプログラム。継続参加するメンバーと、無作為抽出のメンバーが一緒になってチームを組成する。 毎年新しいテーマ、方法を工夫・改善しながら、数回のセミナー、ワークショップ、グループワークを通じて、成果発表まで、数か月にわたって、数十名の市民が一丸となって、一連のプログラムに取り組む。 【平成25年】旧県立福岡高校跡地を最大限に利用した「子育て・健康・医療・介護・福祉」などの複合的な活用について 【平成26年】～持続可能なふじみ野市を目指して～公民館の適正な受益者負担とは 【平成27年】～将来にわたって魅力と活気にあふれるふじみ野市を目指して～ふじみ野市まち・ひと・しごと創生



(出典) ふじみ野市HP <http://www.city.fujimino.saitama.jp/categories/bunya/shisei/seisaku/allfujiminomiraiseisakuiga/>